

新スタイリングジェル

中野製薬「ジェンダーレス」訴求

頭髪化粧品を中心としたODM・OEMを行う中野製薬（京都府京都市、中野孝哉社長）は、若い世代を中心に流行しているナチュラルなヘアスタイルを手軽に実現する新たなジェル状スタイリング料のODM提案を開始している。

同社によれば、現在の男性ヘアスタイルの潮流は、男女差にとられない「ジェンダーレス」や、頑張りすぎない「エフォートレス」等のトレンドを背景に、キ

メ過ぎないナチュラルなスタイルが主流になっているという。ただ、こうしたスタイルを実現するためには、セツト力が弱いスタイリング料とスタイルをキープするヘアスプレーの併用が必要で手間や時間がかかり、また、自宅でナチュラルな質感を作り出す難しさもあったという。

こうした課題を「アイテムで解決するのが今回同社がODM提案するジェル状スタイリング料。『透明で、

スタイリング料にはない柔らかなで自然な毛流れを実現。もう一つは羊毛由来のケラチンフィルムを配合することで柔らかい毛束の動きをタレずにキープすること」に成功した。さらっとした質感でベタつかず、肌に触れても不快感が無く、水溶性なので水で簡単に落とせるという。

「流行のナチュラルなヘアスタイルを多くの方が手軽に再現できるように開発した。当社はメンズスタイリング料が強みだが、今回のアイテムは女性もお使い頂ける。今後も剤型の幅を広げることで、性別にとられないジェンダーレスなスタイリング料のODMライオンナップを強化していくのでご期待頂きたい」（中野敬士執行役員マーケティング本部長）。

中野製薬は「ナカノスタジオ」での情報発信も強化している。